

# 大会日程

1月18日(土)

役員集合 8:00 (各中学校)  
開館 8:30 第4試合以降のチームは 12:30  
競技 男女 9:15～  
予選グループ戦  
会場 男子 草津中学校 甲西中学校  
女子 守山南中学校 新堂中学校 栗東中学校  
栗東西中学校 高穂中学校 市立守山中学校

1月25日(土)

役員集合 8:00 (各中学校)  
開館 8:30  
※瀬田公園体育館については、8:15～割り当てチームによる会場準備終了後、8:50頃開館。  
競技 女子 9:15～  
※瀬田公園体育館は開館45分後、競技開始  
決勝トーナメント 1回戦～3回戦  
会場 瀬田公園体育館  
打出中学校 栗津中学校 皇子山中学校

2月 1日(土)

役員集合 8:00  
開館 8:30  
競技 男子 9:30～ 決勝トーナメント 1回戦～準決勝  
女子 9:30～ 決勝トーナメント 準々決勝～準決勝  
会場 男女 YMITアリーナ

2月 9日(日)

(最終日は、第15回アミンチュてれびBBC杯争奪滋賀県  
小中高バレーボール大会を兼ねる。)  
競技 男女決勝 11:45～  
会場 野洲市総合体育館

## 競技上の注意事項

1. 本大会は、2024年度（公財）日本バレーボール協会6人制競技規則に準じて行う。なお、ネットの高さは、男子2m30cm・女子2m15cmとする。使用球は、検定4号球男子モルテンV4M5000、女子ミカサV400Wとする。
2. 受付後、直ちに各チームの第1試合の構成メンバー表を提出すること。
3. 開会式（開始式）は行わない。
4. 試合毎に申し込み18名の中から12名をエントリーすることができる。ベンチには、部長1名・監督1名・コーチ1名・マネージャー1名・選手12名の計16名以内の着席を認める。（部長は当該校の校長又は、教頭とする。）外部コーチの場合は外部コーチ証をつけること。試合の前の公式練習に際しても、有効な構成員以外の者がフロア及びコートにはいることは禁止する。  
申し込み選手18名の中からエントリー（登録）選手12名を試合毎に登録すること。ベンチスタッフおよび競技者の変更は、「変更届」と「チーム加入選手一覧（登録料支払い済み）」を試合当日の会場で提出することで認める。
5. 予選グループ戦については、第1試合の役員は第2試合のチームがあたる。第4試合の役員は第5試合のチームがあたる。男女とも、第2、第5試合以降の役員は勝者チームで行う。  
1月25日は、第1試合の役員は、第3試合のチームがあたる。以降の役員は敗者チームで行う。  
2月1日は、第1試合の役員は、第2試合のチームがあたる。以降の役員は敗者チームで行う。
6. 1組4チームのグループ戦を行う。1つ目の試合を勝てば2日目に勝ち上がる。また、1つ目を負けても、敗者同士の試合で勝てば2日目に勝ち上がる。
7. 5分間の合同練習後、プロトコールにはいる。
8. 試合が連続した場合、10分以内の休憩をとることができる。ただし、3試合連続した場合、15分以内の休憩をとることができる。なお、その間はパス程度（アタックヒットなし）の練習を認める。合同練習は、この時間に含まない。
9. 合同練習はパス程度とする。ただし、予選リーグの第1試合、第4試合、決勝トーナメント（1月25日、2月1日）の第1試合についてはネットを使用した練習を可とする。
10. 本大会にかかわる事項については、大会役員の指示に従うこと。
11. 監督・コーチ・マネージャーは統一された服装が望ましい。また、監督章・コーチ章・マネージャー章を左胸部につけること。ただし、服装については、マネージャーが生徒の場合はこの限りではない。
12. 半袖ユニフォームの下に長袖アンダーシャツ等を着用することは原則認めない。
13. ベンチ内の持ち込み物について、試合進行に関わりが無いものを露出することを禁ずる。作戦に関するものは、基準に当てはまる物は持ち込みを許可する。〈監督・コーチ・マネージャーのみが常時携帯でき、速やかに危険回避できること。素材が安全なもの（紙・プラスチック）。大きさは使用時の最大がA3版以内であること。〉電子機器（スマホ・タブレット・PC・無線端末）等の使用は禁ずる。
14. 準決勝、決勝戦ではパドルを使用する。
15. 試合を行うチームに棄権が出た場合も、通常通り合同練習、公式練習を行った上で、不戦勝の手続きを行うこととする。

## 審判上の確認事項

1. 本大会は、2024年度（公財）日本バレーボール協会6人制競技規則に準じて行う。なお、ネットの高さは、男子2m30cm、女子2m15cmとする。
2. 監督はプロトコール前、キャプテンはトスの前に、記録用紙にサインを済ませる。
3. ウォーム・アップ・ゾーンを設ける。但し、ゾーン内でのボールの使用は禁止する。
4. セット間はフリーゾーンでボールを使用してもよいが、隣のコート邪魔にならないように、パス程度のものであるとする。
5. 役員、相手チームのプレイヤーはもちろん、自チームのプレイヤーに対しても粗暴な行為や人格を損なうような言動は、慎まなければならない。
6. スポーツマンとしてふさわしくない行為はしないこと。（相手チームに向かってのガッツポーズ等）
7. 試合中、ボールの交換を要求する場合、選手がレフェリーに申し出ること。
8. ワンボールシステムで試合を行うので、デッドになったボールの処理は速やかに行うこと。ただし、準決勝と決勝については5ボールシステムを採用する。
9. タイムアウトは、ハンドシグナルを明確に示して要求すること。
10. モップでのワイピングについてはタイムアウト中、セット間に自チームで行うこと。ただし、レフェリーが危険であると判断した場合はモップを入れてワイピングを行う。
11. ワイピングは、コート内の選手が、自分の持っているハンドタオル等を用いて速やかに行うこと。
12. 構成メンバーは最大12名でリベロプレイヤーを含む。チームは、最大2名までのリベロプレイヤーを試合毎に登録できる。
13. ファーストレフェリーは教職員およびクラブチーム指導者が行う。ただし、外部コーチが有資格者の場合は、ファーストレフェリーをすることができる。
14. セカンドレフェリーは、教職員、クラブチーム指導者および外部コーチで行う。
15. ブザーを用いた審判は不可とする。必ず短管・長管の笛を持参すること。